

平等・開発・平和

ともだち共立

第18号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

男女で「おもてなしの心」を忘れずに

高岡市男女平等推進センター所長 蒲田 政裕



早いもので、高岡市男女平等推進センターに着任してから1年が経とうとしています。センターの事業はなんですかと聞かれますと、大きな柱として

(1) DV等女性に対する暴力をなくすしくみづくり

(2) 男女平等・共同参画を進めるしくみづくり

の2つの推進を挙げています。

センターでは、DV(ドメスティック・バイオレンス)を初め、家庭の問題などいろいろな相談を受けており、月1回の無料法律相談などもあります。DVを少しでもなくすために、各種講座やデートDVの予防啓発講座なども開いています。また、男女平等・共同参画を進めるためにワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の事業所の認定や家庭における家事・育児の共同で取り組みを図るため、男性の料理教室などセンター企画講座や市民企画講座を開催し啓発活動を行っています。

推進員の皆様には、日ごろから講演会や各種講座などに積極的に参加していただき、お礼を申し上げますと同時に、さらなる自己研鑽により、1人1人の力がさらに大きな力となって、センター事業推進につながれば幸いに存じます。

さて、話が変わりますが、東京オリンピックの誘致では「お・も・て・な・し」という言葉に感動を与え、その年の流行語大賞にもなりました。3月14日の北陸新幹線の開通においても「おもてなしの心」をもって観光客を迎えようという言葉がたくさん使われております。

「おもてなし」はお客様に対する心のこもった接遇やサービスなどを意味する言葉ですが、「おもてなしの心」は相手の気持ちをおもんばかることだと私は思っています。

男性も女性も相手を思うちょっとした気遣いがDVを少なくし、家庭では家事や育児にお互いの協力体制が生まれるのではないのでしょうか。

「おもてなしの心」を忘れずに人とのコミュニケーションを図ることが、男女平等・共同参画社会の実現に向けた1歩になると確信しております。

「男女平等・共同参画宣言都市」高岡

認めあい 支えあい
共に輝くひととまち
を目指しています。



平成27年春 北陸新幹線開業
飛越能の玄関口 高岡

この広報紙は高岡市のホームページからご覧いただけます。

ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html>



定例会 講演会 「相続税と贈与税の基礎知識」

2月19日

講師：税理士法人中村税務みらい経営
代表社員・税理士 中村 総一郎さん

相続税や贈与税、男女問わず身近で大切な人が亡くなった時に直面する税金のことですが、実際のところよく知らない事でした。

今回の定例会では、平成25年度税制改定で変更になった「基礎控除の引き下げ」や「教育資金の一括贈与の非課税」について、実際に起こった事例を踏まえた講演会を開催しました。

また、相続税が掛かる財産と掛からない財産の違いについても、分かりやすい解説があり、もしもの時に慌てる事なく、残された家族に何を残す事が出来るのかを考える、貴重な時間を過ごす事が出来ました。(指崎 一匡)



10月4日

高岡万葉まつり 朗唱の会

今年度は推進員有志4名で参加。
男女共同参画をアピールしてきました！

こんな活動もやりました！

定例会 親子料理教室 1月31日

高岡市農業センター栄養士
佐野 晴美 さん

推進員とその家族の計25組が参加し、「ひし形押し寿司」「たたききゅうり」「鶏肉の揚げないカツ」の3品を作りました。押し寿司は雛祭りが近い事もあって、見た目も華やかな3色に色分けされたひし形で、これをなんと「牛乳パック」を利用して作るというアイデアあふれるものでした！

分担を決めて手際よく作業を行ったので、昼までにはすべてを盛りつけることができ、各テーブルには色鮮やかな料理が並びました。

親子で一緒に作った料理をほおばるみんなの顔には、季節より一足先に満面の笑顔が咲き誇っていました！(指崎 一匡)



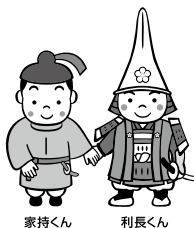
編集後記

DVの相談件数が高岡市でも年々増加傾向にある事について、世の中が効率化を求めるあまり、誰もが余裕を持ちづらくなっている事も影響しているのではないかと思います。

いよいよ北陸新幹線開業の時を迎え、鉄道輸送面でもさらに効率化の時代が到来しますが、冒頭のセンター長のお話しにもある通り、私自身も「おもてなしの心」をもち、相手の気持ちをおもんばかって行動できるよう心掛けたいと考えました。(松本 光司)

広報部員

副会長 指崎 一匡
部長 松本 光司
谷内 英哉
富岡 ルミ



身体的暴力だけがDVではありません ～増加するDV～

DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉、耳にするようになって久しいですが、“DV”＝“相手の身体に危害を及ぼす直接的な暴力”と捉えられている方も多いのでは無いでしょうか。

DVとは、“親密な関係にある人(配偶者や恋人)に対して身体的・精神的・性的・経済的暴力を繰り返し、支配(コントロール)すること”を言い、男女平等推進センターへ寄せられるDVの相談件数も年々増加傾向にあり、高岡市内でも珍しいことでは無くなってきています。

「自分の行動を、相手の都合で制約されてしまい、自分がやりたいことを我慢してしまう結果になる。」これも立派なDVで、被害者は繰り返し直面する事で無力感を学習してしまい、置かれた状況から抜け出せなくなる事がDVの本質的な問題となっています。

また、配偶者間ではなく、若い世代での親密な人との間で起こるDVのことを、特に「デートDV」といい、若年層ゆえの、ソーシャルネットを使ったDVも発生しています。

DV被害者の心理では、「自分が我慢すれば」と考えて、問題が表に出ず長期化する傾向にあります。周りに、DV被害を受けている人がいたら、先ずは「相談できる場所があること」を伝えてあげる事が最優先になります。

これもDVです

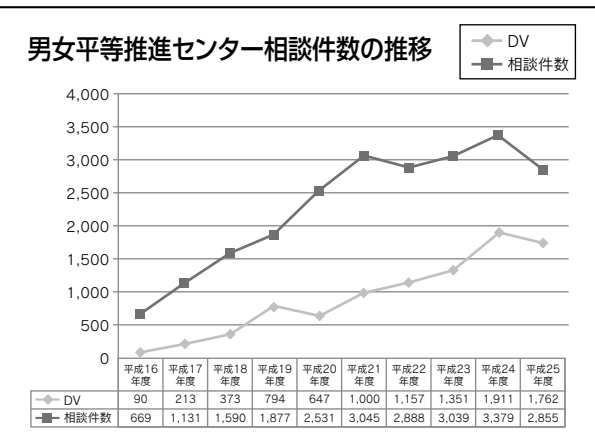
明日の日曜日、どこかへ行こう！

ごめん、明日は友達と一緒に映画を観に行く約束をしてるの

別に、そんなのキャンセルすればいいだろ！

えっ、でも…友達との約束が先だったし…。もう、映画のチケットも取ってもらってるから…

俺と友達、どっちのほうがいい？俺、彼女なんやから、俺の言うことだけ聞いとけばいいやろ！



民間支援基金パサパは皆様の支えて成り立っています！



DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

〈会費・寄付振込先〉

ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサパ

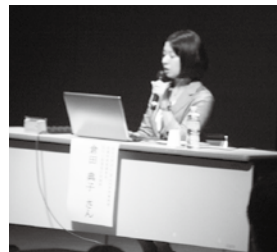
問合せ先：080-6358-0838

パサパって？

フランス語で、「一歩一歩」という意味です。

10月26日 男女平等EXPO高岡2014 第1弾 男女の健康の確保に向けてのセミナー

女性も男性も笑顔で健やかに自分らしく～検診が運ぶそれぞれの充実生活～
基調講演「乳がんを予防し、自分らしく生きるために」 高岡市生涯学習センターホール
国立大学法人富山大学附属病院看護部副看護師長 乳がん看護認定看護師 倉田典子さん



日本人女性の 12 人に 1 人の割合で発症している乳がん。乳腺相談外来では、治療に関すること、普段の生活での家族の不安や悩み、男性医師には聞きにくいことも女性の強みを生かし相談に応じておられます。

【パネルディスカッション】

男性介護者の会みやび代表 平尾隆さんをコーディネーターに、パネリストは、倉田典子さん、高岡市ヘルスポランティア協議会会長 河合博子さん、乳がん患者会「ハッピーリボン」石田博子さん。ボランティアの方の公民館などでの検診の推進、予防啓発活動、患者会の方の体験されたお話を聞き、家族の支え、社会とのつながりの大切さを強く感じました。(富岡 ルミ)

11月16日 男女平等EXPO高岡2014 第2弾 女性に対する暴力をなくす運動事業

エッ、これも DV… ～気づき、手をつないで守る 大切な人 高岡市男女平等推進センター会議室

アプローチ(推進員 OB)の男性 3 人・女性 1 人が、女子高生に扮して演じる楽しく美しい(笑)寸劇から始まり、高岡市の DV 被害の現状について、高岡警察署生活安全課長針山鉄雄氏からお話がありました。

富山県のストーカー・DV 認知件数が増え始めたことや、ストーカー被害にあわないための方法、DV 防止法などについてわかりやすく説明して頂きました。

DV(ドメスティックバイオレンス)は、親密な関係にある人への暴力で加害者の 90%が男性、結婚している女性の 3 人に 1 人が夫から暴力をうけているということがわかりました。

自分のまわりでは関係のない話だと思っていたのですが、本当は身近に起きているものだったのです。私たち推進員ができるのは「相談するところがあると教える」「自分の価値観を押しつけない」「被害者を責めない」「DV について正しく理解する」「次の世代に DV 被害者、加害者をつくらない」ということでした。それを伝える重要性を確認した日になりました。(谷内 英哉)



悩んでいることは ありませんか ひとりで悩まないでご相談ください

DV(夫や恋人からの暴力)
家庭や職場のトラブルや悩み事など
高岡市男女平等推進センター相談室
TEL 0766-20-1811



平成25年度の
主なデータ
相談件数：2,855 件(延件数)
主な主訴：①DV 1,762 件(61.7%) ②生き方 290件(10.2%)
③夫婦の問題 148件(5.2%)
年 齢 別：①30代 1,095 件(38.4%) ②40代 886 件(31.0%)

相談時間 9:30～16:30 月・火・水・金・土
14:00～20:00 木
【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。)
※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。
(相談業務は毎週日曜日がお休みです。)
高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階) ●JR高岡駅前

相談室より
相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。
電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

地域別研修会に参加しました!! 11月9日/アイザック小杉文化ホール まどかホール

射水市・氷見市・高岡市の推進員による合同の研修会が行われました。
内容は 3 部で構成され、第 1 部は「女性の就業環境をめぐる状況」と題し、富山県における女性の就業環境や家事役割分担の意識調査といった現状説明、第 2 部は「心地よい人間関係を作るコミュニケーション」という題目で寸劇が行われ、日常の会話の中でどのような言葉をかければ円滑なコミュニケーションがとれるかを、コミカルな劇で楽しみながら学ぶことが出来ました。
第 3 部は「認知症にならないために」と題して赤江クリニック赤江 豊院長の講演が行われました。ベビーブーム世代が、10 年後には高齢者人口がピークに達する「2025 年問題」。
その中でも問題視されている「認知症」について、分かりやすくご説明をして頂きました。
この研修会で、私たちが暮らす富山県において今後取り組むべき課題と、よりよい男女共同参画社会の実現に何をしなければいけないのかを知ることが出来ました。(指崎 一匡)